

(仮称)大東橋周辺地区まちづくり基本構想(案)

平成 10 年 3 月

大東橋周辺地区まちづくり協議会

(1) 土地利用計画

住宅	住宅	業務
住宅	業務	業務
住宅	業務	店舗
店舗	店舗	店舗

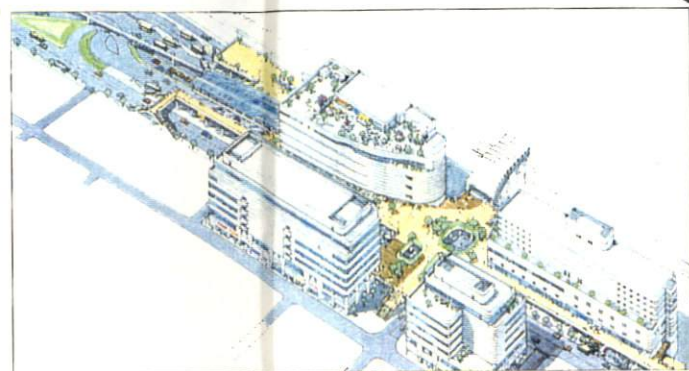


- ・おしゃれな
- ・原宿のような
- ・都会的な住まい方
- ・個性的な建物
- ・立ち並ぶ
- ・ブティック、美容院、アンティークショップ----

C4・D1～4街区
商業・業務に加え、住居等との複合的な利用を図っていく

B4街区
横浜側の交通広場計画との連携、協調を図りつつ、北口駅前の顔らしい景観をつくり、仲通り、松竹通り、東口へのスムーズな人の流れを誘導する

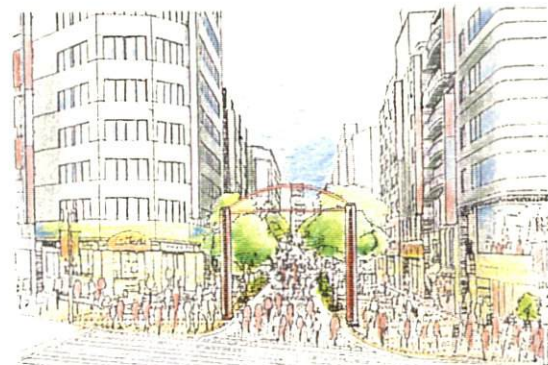
A1・B1・B2街区
広域的商業拠点として整備(東口再開発事業区域)



大船駅東口再開発事業第2地区では、拠点性の強化や大船停車場小袋谷線の整備等による駅直近地区での交通環境の改善を図るため、再開発事業の早期事業化を推進します。また、北口の開設など駅北地区のまちづくりとも整合を図りながら、駅周辺の回遊性を高める歩行者動線の整備や拠点的商业施設等の立地などをすすめ、地区の玄関口にふさわしい駅前空間の整備をすすめます。

B3街区
東口再開発街区と連携した景観、施設構成を誘導するとともに、商業・業務機能の集積を図る

業務		業務	業務
	業務	業務	
	店舗	業務	
業務	店舗	店舗	業務
店舗	店舗	店舗	店舗



- ・働く人のまち
- ・商いの人のまち
- ・大船の中心
- ・モダンな
- ・すっきりとした
- ・きれいな

C5・D5街区
住居系を主体とした利用とし、仲通り、松竹通り等とは異なる落ち着いた静かな雰囲気を持つ街区とする。但し、C5街区については駅にも近いため集合住宅、商業・業務機能の集積状況に合わせて土地利用転換も検討していく



- ・自由が丘のような
- ・代官山のような
- ・しみじみとした
- ・しっとりとした
- ・すこし入ったところのお店



- ・おちついたまち
- ・生活の気配

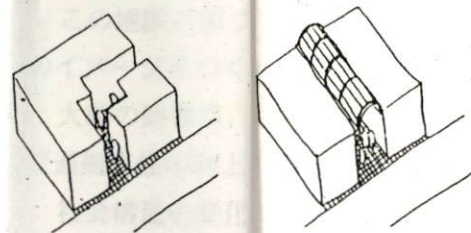
住宅	住宅	住宅
住宅	住宅	住宅
店舗	店舗	店舗

住宅	住宅	店舗	住宅
住宅	住宅	店舗	店舗

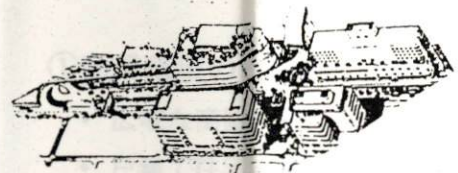
住宅	住宅	住宅
住宅	店舗	住宅
店舗	店舗	住宅

○将来動向を見据えつつ、重点的に検討する地区
広場や建物などの整備を中心として、周辺への波及効果や必要・緊急性、他事業の関わりから、早急かつ重点的な検討を行う

(2) 道路交通計画

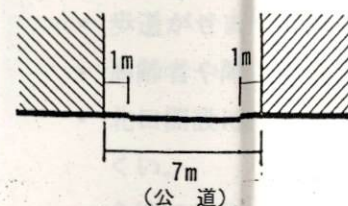


- 通り抜け空間の確保
- ・C2、C3、C4街区の間に通り抜け空間を確保することが望ましい



- 大船停車場小袋谷線：決定済み
- 幅員16m、15m

大きな
広い
立派な

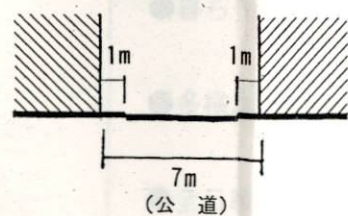


- 西友前通り
- 現況：約7m（車道5m、歩道1m）
- （車道幅を4m程度確保）
- ・ゆとりある商業空間を形成するため
- ・仲通りに準ずる商業的動線の形成
- ・サービス機能を集約する

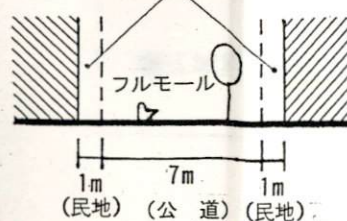
外壁後退による歩道拡幅



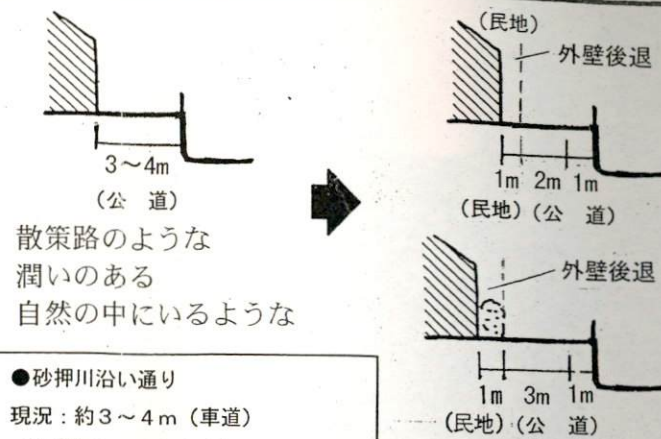
ヒューマンスケール
賑わいのある
近道のような



外壁後退による歩道拡幅

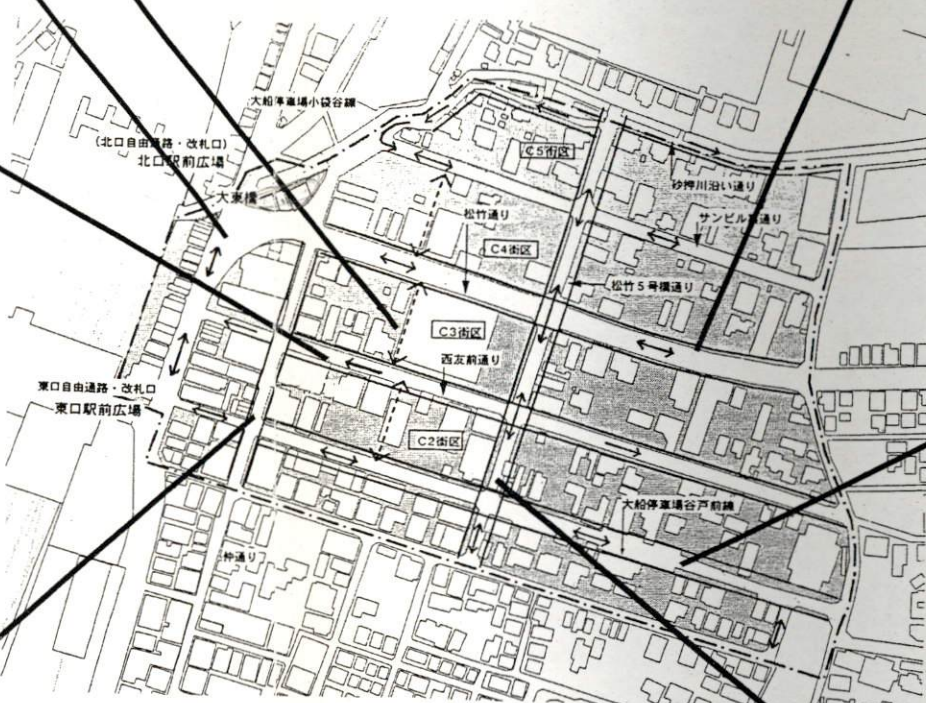


近道のような
庶民的な、市場みたいな
ヒューマンスケール
賑わいのある
楽しみのある



散策路のような
潤いのある
自然の中にあるような

- 砂押川沿い通り
- 現況：約3~4m（車道）
- （車道幅を3m程度確保）
- ・川沿いの快適な空間を確保するため
- ・水、緑の潤いを地区にもたす



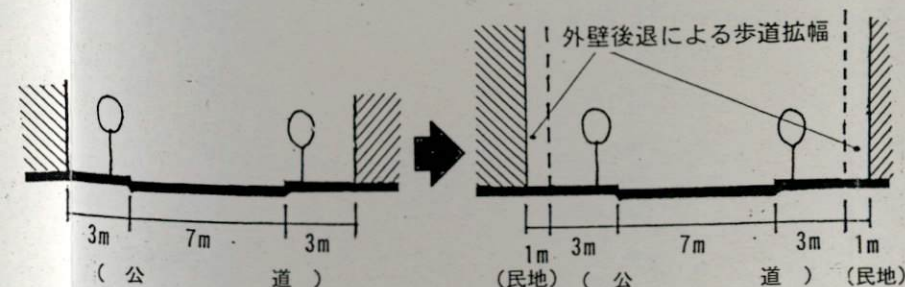
<仲通り北側道路・西友前通りに望まれる街路空間要素・沿道空間要素>

- ・街路空間要素
- 全面的高い質の舗装
- 多機能の一体化街路灯
- 電線の地下埋設
- 車避けやスピード減速の仕掛け
- 放置自転車への対応
- ・沿道空間要素
- 壁面の後退（1m）
- 統一した建物景観
- 統一した広告・サイン
- サービスシステムの確立

<大船停車場谷戸前線・松竹通り・松竹5号橋通りに望まれる街路空間要素・沿道空間要素>

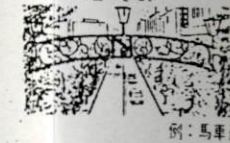
- ・街路空間要素
- 4mの歩道空間
- 高い質の舗装
- 電線の地下埋設
- 豊かな街路樹
- 統一デザインの街路灯
- 目立たないゴミ処理
- 放置自転車への対応
- ・沿道空間要素
- 壁面の後退
- 建物景観の調和
- 1階の用途の調和
- 半公共空間の創出
- 広告・サイン等の調和
- 車進入の制限
- 緑化の推進

- 松竹通り
- 現況：約13m（車道7m、歩道2~3m）
- （歩行者空間を3~4m確保）
- ・歩行者交通量の急増が予想され、沿道演出空間も不足しているため
- ・地区のシンボルに相応しい街路空間を形成するため
- ・駅と松竹シネマを結ぶシンボル空間の形成



歩道+壁面後退

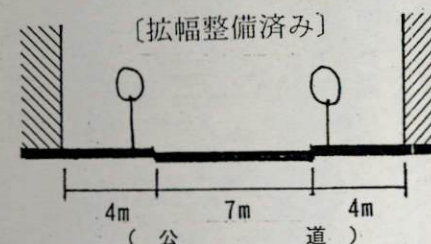
歩行空間が広がり、半公共的領域に凹凸の変化が生まれ、商店街に集まり、ゆとりが生まれる。ストリートファニチャー・街路樹などが設置できる。



例：馬車道

歴史を感じさせる
ゆったりとした
楽しみのある
多様性を感じる

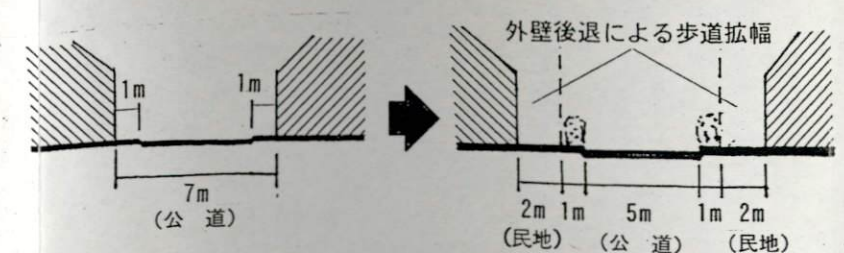
- 大船停車場谷戸前線：整備進行中
- 計画幅員15m：車道7m、歩道4m
- ・駅と芸術館を結ぶシンボル空間の形成



新しい大船らしさ
ゆったりとした
きれいな



- 松竹5号橋通り
- 現況：約7m（車道5m、歩道1m）
- （歩行者空間を3~4m確保）
- ・歩行者空間の拡大及び緑空間の形成を行うため
- ・谷戸前線・松竹通り・砂押川を結ぶ南北軸の形成



外壁後退による歩道拡幅

